

令和2年度 秋田県中央地区介護支援専門員協会 事業計画

1. 基本方針

2000年4月に施行された介護保険法も20年を迎えた。少子高齢化の進行、社会保障費の増大、働き手の不足等、社会の変化に伴い、住民の価値観も変化した。また、東日本大震災を始めとする様々な自然災害、そして、新型コロナウイルス感染症の拡大と驚異、我々は、国難とも言える状況下、介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で、安心して生活が続けたいという住民の思いにどう寄り添えるかが問われている。

厚生労働省は、2021年度介護報酬改定における今後の論点の案を提示している。「地域包括ケアシステムの推進」「自立支援・重度化防止の推進」「介護人材の確保・介護現場の革新」「制度の安定性・持続可能性の確保」の4つを分野横断的なテーマとし議論する方向性を示している。特に「自立支援・重度化防止の推進」は時期改定の焦点の一つである。また、「介護人材の確保」では、介護支援専門員の処遇改善について議論される可能性が高い。

そのような状況下、新型コロナウイルス感染症による影響も懸念されている。その影響は大きく、社会福祉構造改革等に大きな変化も予想され、当協会の活動においても例外ではない。集合研修の開催方法等、状況に応じた柔軟な対応を検討していく。

令和2年度は、国難とも言えるこの状況から目を逸らさず、地域共生社会における職能としての社会的価値を高めることを目指しつつ、「地域の介護支援専門員を支える」を大きな目標として活動を進める。

2. 目標

「地域の介護支援専門員を支える」

- (1) 介護支援専門員同士が繋がる事による、支え合える関係づくり
- (2) 集合研修以外の方法による、学びの場づくり
- (3) 災害時の情報共有システムの構築

3. 重点課題

1. 組織の強化

- (1) 日本介護支援専門員協会及び秋田県介護支援専門員協会との連携の強化。
- (2) 定期的な役員会の開催。リモート会議等、開催方法の検討。
- (3) 各圏域での協会の活動状況を共有、地区協会が担うべき役割、課題の明確化による、速やかな役割の遂行、課題の解決。

2. 会員の維持・増強

- (1) 安定的な協会活動の推進のための会員の増強。
- (2) 入会継続のための魅力ある活動の実施。
- (3) 研修会の3圏域（男鹿南秋潟上圏域、秋田市、由利本荘にかほ圏域）での開

催による、地区協会内の繋がり強化。

3. 事務局機能の強化と業務の効率化

- (1) 事務局本部及び事務局の業務の組織化の推進。
- (2) 会員・会費管理業務の簡素化。
- (3) 「遅れ・漏れ」のない会費納入の促進。
- (4) コストを意識した安定的な運営の遂行。

4. 協会活動活性化のための部会活動

- (1) 研修部会～介護支援専門員の資質向上を目指し、情勢や会員ニーズに合った研修会の企画。集合研修以外の「学びの場」づくりの検討。広報部会との連携の強化。
- (2) 広報部会～県協会のホームページを活用した活動状況、研修情報の周知。中央地区の Facebook ページの開設。様々な SNS、リモートアプリ等を活用した、情報発信方法の検討。研修部会との連携の強化。
- (3) 相談部会（県協会活動）～「顔（活動）の見える相談部会」。協会主催の研修や他団体のイベントでの相談ブースの設置、会員や住民の相談対応。

5. 会員向けサービスの向上

- (1) 会員特典である日本介護支援専門員協会ホームページ（会員限定ページ）、メールマガジン活用の促進。
- (2) 県協会ホームページ、Facebook 等、情報発信ツールの周知。

6. 他職能団体等との連携の強化

- (1) 研修の開催情報や広報等の他職能団体への発信。
- (2) 研修等の共催・後援の促進。

7. 地域貢献活動の検討及び活動への支援

- (1) 地域課題等を拾い上げ職能団体としてできることの模索。
- (2) 地域の介護保険に関する活動への協力、支援。

4. 事業内容

1. 会務の運営

- (1) 総会の開催 年 2 回

[通常総会] ※書面決議による開催

期 日 令和 2 年 5 月 1 6 日（土）

議 案	議案第 1 号	令和元年度	事業報告及び収支決算報告
		令和元年度	会計監査報告
	議案第 2 号	令和 2 年度	事業計画案及び収支予算案
	議案第 3 号	規約の一部改正について	
	報告事項	事務局体制の変更について	

[臨時総会]

期 日 令和 3 年 2 月頃

- (2) 役員会の開催 年 6 回（偶数月 第 2 金曜日）
[第 1 回]

期 日 令和2年 4月10日(金) 15時～
会 場 中央シルバーエリア内 御所野交流センター
案 件 1) 平成31・令和元年度事業報告および決算監査について
2) 令和元年度事業計画および予算案について
3) 総会及び研修会について
4) 第1回研修会について

[第2回]

期 日 令和2年 6月12日(金) 15時～
会 場 中央シルバーエリア内 御所野交流センター
案 件 1) 日本協会、県協会報告
2) 各圏域報告
3) 課題共有、検討
4) 第1回研修会について
5) その他

[第3回]

期 日 令和2年 8月14日(金) 15時～
会 場 中央シルバーエリア内 御所野交流センター
案 件 1) 日本協会、県協会報告
2) 各圏域報告
3) 課題共有、検討
4) 第2回研修会について
5) その他

[第4回]

期 日 令和2年10月 9日(金) 15時～
会 場 中央シルバーエリア内 御所野交流センター
案 件 1) 日本協会、県協会報告
2) 各圏域報告
3) 課題共有、検討
4) 第3回研修会について
5) その他

[第5回]

期 日 令和2年12月11日(金) 15時～
会 場 中央シルバーエリア内 御所野交流センター
案 件 1) 日本協会、県協会報告
2) 各圏域報告
3) 課題共有、検討
4) 第3回研修会について
5) その他

[第6回]

期 日 令和3年 2月12日(金) 15時～
会 場 中央シルバーエリア内 御所野交流センター
案 件 1) 令和2年度事業の振り返り
2) 令和3年度事業計画について
3) その他

(3) 監事会の開催 年1回

期 日 令和2年 4月

2. 介護支援専門員の資質向上を図るための研修会の実施

(1) 秋田県中央地区介護支援専門員協会研修会の開催 年3回

秋田市、男鹿南秋潟上、由利本荘にかほの3圏域で開催予定。

[第1回]

期 日 令和2年 8月頃 (男鹿潟上南秋)

[第2回]

期 日 令和2年10月頃 (由利本荘にかほ)

[第3回]

期 日 令和3年 2月頃 (秋田市)

《秋田市地区》

新任向けスキルアップ研修会『秋田けあまね塾』(3年未満のケアマネージャー対象)

期 日 未定

主任CM・管理者のためのスキルアップ・トレーニング

(主任介護支援専門員 管理者または、実務経験5年以上(施設・居宅を問わない))

期 日 未定

秋田ケアマネカフェ

期 日 未定

(2) 県北地区及び県南地区主催研修会情報の提供 (県協会費納入会員は参加無料)

開催予定は、ホームページ、Facebook ページに掲載予定。

(3) 関係機関等との合同研修会の企画

(4) 秋田市、男鹿南秋潟上、由利本荘にかほ、各圏域単位でのフォローアップ研修、集いの場等の開催

5. 会議・研修への派遣

[日本介護支援専門員協会関係]

・ 日本介護支援専門員協会代議員 委員派遣 (長澤利一)

[秋田県介護支援専門員協会関係]

・ 広報部会 委員派遣 (西山まゆみ、工藤寿廣)
・ 研修部会 委員派遣 (岩谷淳志、長澤利一、大滝和枝)
・ 調査研究部会 委員派遣 (畠山北光、嵯峨善行、武田貴康)
・ 相談部会 委員派遣 (鈴木信久、綿貫 哲、川俣澄人)

[秋田県関係]

・ 秋田県福祉保健人材、研修センター運営委員会 委員派遣 (長澤利一)
・ 秋田介護労働懇談会 委員派遣 (長澤利一)
・ 介護予防従事者研修会 講師派遣 (長澤利一、大滝和枝、岩谷淳志)

- ・主任介護支援専門員指導力等向上研修会 (長澤利一、大滝和枝、岩谷淳志)

[秋田市圏域関係]

- ・秋田市社会福祉審議会 (高齢者専門部会) 委員派遣 (照井寿和)
- ・秋田市地域密着型サービス運営協議会 委員派遣 (照井寿和)
- ・秋田市地域包括支援センター運営会議 委員派遣 (照井寿和)
- ・秋田市高齢者虐待防止連絡協議会 委員派遣 (荒谷 亨)
- ・秋田市認知症施策検討委員会 委員派遣 (綿貫 哲)
- ・秋田市在宅医療介護連携推進協議会 委員派遣 (三浦秀己)
- ・秋田市在宅医療介護連携推進協議会 多職種連携推・研修部会 委員派遣 (三浦秀己)
- ・秋田市介護認定審査会 委員派遣 (長澤利一、綿貫 哲、照井寿和、星佳子、川端洋祐)
- ・市立秋田総合病院 認知症疾患医療連携協議会 委員派遣 (荒谷 亨)
- ・緑ヶ丘病院 認知症疾患医療連携協議会 委員派遣 (星 佳子)

[本荘由利にかほ圏域関係]

- ・由利地域保健医療福祉協議会地域医療推進部会 委員派遣 (大滝和枝)
- ・秋田県由利地域医療・介護・福祉連携促進協議会 委員派遣 (大滝和枝)
- ・由利本荘地域包括ケア推進委員会 委員派遣 (大滝和枝)
- ・由利本荘市認知症等高齢者見守り SOS ネットワーク推進委員 委員派遣 (大滝和枝)

[秋田県社会福祉協議会関係]

- ・秋田県介護支援専門員研修委員会 委員派遣 (綿貫 哲)

- ・介護支援専門員実務研修 講師派遣
- ・介護支援専門員専門研修 (専門研修課程Ⅰ) 講師派遣
- ・介護支援専門員専門研修 (専門研修課程Ⅱ) 講師派遣
- ・介護支援専門員更新研修 講師派遣
- ・主任介護支援専門員研修 講師派遣
- ・主任介護支援専門員更新研修 講師派遣

[その他]

- ・秋田県社会福祉士会 介護支援専門員試験対策講座 講師派遣

令和2年度 秋田県中央地区介護支援専門員協会 収支予算書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月31日

収入の部

単位:円

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減(△) (A)-(B)	備 考
1. 会費収入	2,609,000	2,341,500	267,500	継続会員 7,500 × 248名 = 1,860,000 7,500 × 64名 = 480,000 (リコーリース) 新規会員 8,500 × 20名 = 170,000 (見込み数) 賛助会員 31,000 × 3団体 = 93,000 6,000 × 1名 = 6,000 (個人)
2. 事業収入	75,000	75,000	0	第1回研修会参加費(非会員5名×5000) 第2回研修会参加費(非会員5名×5000) (見込み) 第3回研修会参加費(非会員5名×5000)
3. 助成金	168,000	150,000	18,000	秋田県介護支援専門員協会より (令2年度、会員336名×500)
4. 雑収入	64,500	0	64,500	圏域研修活動費残金
5. 繰越金収入	398,244	301,124	97,120	前年度繰越金
合 計	3,314,744	2,867,624	447,120	

支出の部

単位:円

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減(△) (A)-(B)	備 考
1. 会議費	120,000	70,000	50,000	役員会・監事会・事務局会議・部会会議交通費等 会場使用料
2. 事業費	450,000	395,000	55,000	講師謝礼・会場使用料等、研修会、学びの場づくり 圏域活動費(30,000×3=90,000) 研修派遣
3. 全国等会費	2,273,000	2,042,500	230,500	継続会員:248×6,500=1,612,000 新規会員:20×7,500=150,000 賛助個人:1×5,000=5,000 賛助団体:30,000×3=90,000 リコーリース:64×6,500=416,000
4. 事務費	300,000	250,000	50,000	通信費、事務消耗品(コピー用紙、封筒等)、消毒液など
5. 雑支出	50,000	105,000	△ 55,000	振込み手数料等
6. 予備費	121,744	5,124	116,620	
合 計	3,314,744	2,867,624	447,120	